

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-7	高等学校	公民	現代社会	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	現社 314	高校現代社会 新訂版		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

教科書の内容は、授業を通じて良識ある公民的資質の醸成が達成されるように、とりわけ意識している。

教科書では、基礎的な知識を幅広く習得させることで、現代社会に対する興味・関心を引き出し、より発展的な知識を自ら探究する態度を身につけさせるとともに、様々な現代社会の課題を主体的に考察できる素地の育成を目指している。また、生徒の問題意識に訴えかける文章を一貫して用いることで、習得した知識を活用し、現代社会を生きる一人の人間としていかに生きるかを主体的に考察できる力の育成を図っている。

## 2. 編修の基本方針

○ 2条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、本文記述に関連した最新の話題や動向をコラム「Seminar」として設けたほか、学習効果の高い図版を多数掲載した（第1号）。
- ・ 自主及び自律の精神を養う観点から、抽象的な思想や制度、理論について自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラム「Q&A」を設け、自学自習に取り組めるようにした（第2号）。
- ・ 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、倫理分野、人権分野を詳述した（第3号）。
- ・ 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、高校生の社会参加の事例を特集「ACTIVITY」として設けた（第3号）。
- ・ 正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度や、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、種々の課題に対して生徒が主体的に考えられるような問いかけを「課題例」として設けた（第3号、第4号、第5号）。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本思想史や我が国の領土に関する内容を詳述した（第5号）。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、我が国で導入が進む再生可能エネルギーを取り上げ、その現状について理解できるようにした（第4号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の世界遺産を取り上げ、我が国の文化と貴重な自然について、理解できるようにした（第5号）。</li> </ul>	<p>前見返し 1～2</p> <p>前見返し 3</p>
第1編1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、バイオマス発電に基づく街づくりの事例を記述した。（第4号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、地球環境問題の基礎的な内容に加え、資源・エネルギーの現状と課題などについて記述した（第1号）。</li> <li>・道徳心を培うとともに、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、環境保全のための身近な取り組みのほか、企業・政府・市民による環境保全の取り組みについて記述した（第1号、第4号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が主体的に考えられるような問いかけを設けた（第2号）。</li> </ul>	<p>p. 6～7</p> <p>p. 8～23</p> <p>p. 16</p> <p>p. 16, 23</p>
第1編2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正義と責任を重んずる態度を養うとともに、生命を尊ぶ態度を養う観点から、個人の自由と社会の正義をめぐる問題を記述した（第3号、第4号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、生命科学や情報技術の進展と課題について記述した（第1号）。</li> <li>・正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養う観点から、生殖技術による生命への介入について、子どもの福祉や人間の尊厳を重視する観点からの議論を取り上げた（第3号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養うとともに、生命を尊ぶ態度を養う観点から、生命の質について、自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラムを設けた（第2号、第4号）。</li> <li>・正義と責任、自他の協力を重んずる態度を養う観点から、とくに臓器移植について深く考察し、公正とは何か考えさせるようにした（第3号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生命科学や情報技術の課題について、生徒が主体的に考えられるような問いかけを設けた（第2号）。</li> <li>・生活との関連を重視する態度を養うとともに、正義と責任を重んずる態度を養う観点から、知的財産権の保護の大切さを理解できるコラムを設けた（第2号、第3号）。</li> </ul>	<p>p. 24～25</p> <p>p. 26～34</p> <p>p. 27</p> <p>p. 28</p> <p>p. 29</p> <p>p. 28, 31, 34</p> <p>p. 33</p>

第2編1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、他者と共に生きる人間の在り方について記述した（第3号）。</li> <li>・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、青年期の意義と自己形成の課題について記述した（第1号）。</li> <li>・ 職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う観点から、職業生活と社会参加について記述した（第2号、第3号）</li> <li>・ 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うとともに、伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、青年の生き方について記述した（第3号、第5号）</li> </ul>	<p>p. 36～37</p> <p>p. 38～43</p> <p>p. 44～45</p> <p>p. 46～47</p>
第2編2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、自然哲学の誕生について記述した（第1号）。</li> <li>・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、正義と責任を重んずる態度を養う観点から、源流思想、西洋思想について記述した（第1号、第3号）。</li> <li>・ 生命を尊び、自然を大切にすることを養う観点から、生命尊重の思想や自然と共存する考え方を取り上げた（第4号）。</li> <li>・ 自他の敬愛を重んずる態度を養う観点から、さまざまな愛の在り方について、自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラムを設けた（第3号）。</li> <li>・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本思想史について詳述した（第1号、第5号）。</li> </ul>	<p>p. 48</p> <p>p. 49～71</p> <p>p. 54, 71～72</p> <p>p. 56</p> <p>p. 72～77</p>
法Seminar	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、法に関するコラムを設けた（第1号）。</li> </ul>	<p>p. 78～85, 241, 244</p>
第2編3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、民主主義を実現するための取り組みについて記述した（第3号）。</li> <li>・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、民主政治の歩みと発展や各国の政治制度について記述した（第1号）。</li> </ul>	<p>p. 86～87</p> <p>p. 88～99</p>
第2編4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、安全保障の在り方、世界平和の在り方と日本国憲法の平和主義の意義について記述した。（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 100～101, 113</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本国憲法制定の歩みと人権の保障、我が国の統治機構について記述した(第1号)。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、政治のしくみや在り方について、自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラムを設けた(第2号)。</li> <li>・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、地域コミュニティの維持や再生の取り組みに関するコラムを設けた(第3号)。</li> <li>・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、裁判の傍聴に関する特集を設けた(第3号)。</li> </ul>	<p>p. 102～154</p> <p>p. 130, 131, 135, 154</p> <p>p. 143, 145</p> <p>p. 155</p>
第2編5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正義と責任を重んずる態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、安全保障の在り方と国際社会の保護する責任について記述した。(第3号, 第5号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、国際法の進展や国際政治の歩み、国際社会における我が国の役割などについて記述した(第1号)。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、我が国の領土に関する内容を詳述した(第5号)。</li> <li>・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、我が国の国際貢献の在り方について記述した(第5号)。</li> </ul>	<p>p. 156～157</p> <p>p. 158～183</p> <p>p. 160～161</p> <p>p. 182～183</p>
第2編6章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、我が国における非営利金融機関の取り組みについて記述した(第2号, 第3号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、経済社会の形成と変容、経済のしくみについて記述した(第1号)。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、抽象的な経済理論について、自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラムを設けた(第2号)。</li> </ul>	<p>p. 184～185</p> <p>p. 186～219</p> <p>p. 192～193, 199, 203, 205, 210</p>
第2編7章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、これまでの日本経済の成長過程と今後の成長の在り方について記述した(第1号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本経済史、中小企業と農業について記述した(第1号)。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、農業の多面的機能について記述した(第5号)</li> </ul>	<p>p. 220～221</p> <p>p. 222～233</p> <p>p. 233</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点から、新しい農業の取り組みに関するコラムを設けた(第1号,第2号)。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、公害問題について記述した(第4号)。</li> <li>・職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う観点から、労働問題、社会保障について記述した(第2号,第3号)</li> </ul>	<p>p. 234</p> <p>p. 235～238</p> <p>p. 242～255</p>
第2編8章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、国際社会における貧困削減の取り組みについて記述した(第2号,第3号)。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、国際経済のしくみや動向、金融のグローバル化、地域経済統合の動向や新興国の現状と課題について記述した(第1号)。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、国際経済のしくみについて、自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説するコラムを設けた(第2号)。</li> <li>・他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、貧困削減への取り組みや我が国の経済協力について記述した(第5号)。</li> <li>・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、高校生によるアジア・アフリカ難民支援運動に関する特集を設けた(第3号,第5号)。</li> </ul>	<p>p. 256～257</p> <p>p. 258～279</p> <p>p. 259, 262</p> <p>p. 280～282</p> <p>p. 283</p>
第3編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うとともに、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、持続可能な環境・社会の在り方について記述した(第3号,第4号)。</li> <li>・自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、社会的包摂の在り方について記述した(第3号)</li> <li>・生命を尊ぶ態度を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、感染症の治療と予防の在り方について記述した(第4号,第5号)。</li> </ul>	<p>p. 284～285</p> <p>p. 286</p> <p>p. 287</p>

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・学校教育法第五十一条一項(国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと)に即して、コラムおよび特集の一部テーマについても問いかけを設けたことで、生徒が種々の課題に対して主体的に考察できるように配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-7	高等学校	公民	現代社会	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	現社 314	高校現代社会 新訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

「現代社会」が、公民科の基礎科目であり、1年次での履修も比較的多いことを鑑み、生徒が興味・関心を持って学習しながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 重要用語や難解な専門用語については、注を多用し、丁寧に解説した。
- 2) 生徒が社会的事象に対する客観的かつ公正なものの見方や考え方ができるように、統計資料を豊富に掲載し、また理解の助けとなるように、適宜解説を付けた。
- 3) 第1編「現代社会の諸課題」では、「環境」に密接に関連する問題として、「資源・エネルギー」と「人口・食料」を扱い、諸課題について理解を深められるようにした。
- 4) 我が国の文化や伝統については、青年期の分野においてその特色と学ぶことの意義に触れたほか、日本人としての自覚をより深められるように、日本人の伝統的な自然観や倫理観、外来思想の受容と日本思想の変容についても記述した。
- 5) 「法」や「金融」、「消費者」に関する学習については、本文に加えてコラムを設け、内容を充実させた。
- 6) 生徒が現代社会の動向に関心をもてるように、本文に関連した具体的事例を扱った「Introduction」を各章のはじめに設けたほか、全編を通じて、時事的な事例を扱った「Seminar」を設けた。
- 7) 抽象的な思想や制度、理論について自ら疑問を解決できるよう、わかりやすく解説する「Q & A」を設けた。
- 8) 各節で学ぶ内容を一目で理解・把握できるように、各節冒頭に「学習上のポイント」を設けた。
- 9) 現代社会の主体的な形成者となるための手がかりを得ることができるよう、「ACTIVITY－高校生の社会参加」を設けた。
- 10) 生徒が、幸福・正義・公正の観点に基づいて主体的に考察できるように、第1編「現代社会の諸課題」において、自分の意見をまとめてみようといった「課題例」を設けた。また、生徒が学んだ知識を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し成果などを表現するために必要な思考・判断・表現力を養うため、各章の特集やコラムにも「課題例」を設けた。

- 11) 生徒が、習得した知識を活用して課題を追求するための技能を養うことができるように、課題の設定から調査の方法、レポート作成など調査結果のまとめ方、発表やディベートの仕方などを特集した「Study Skills」を設けた。
- 12) 我が国の領土問題については、広い視野に立って理解を深めることができるように、地図を活用しながら詳述した。
- 13) 公民的資質を養うために、全編を通じて生徒の問題意識に訴えかける文章を多用したほか、平和と人権を重視する視点を貫いた。
- 14) グローバル化が進む現代社会において、日本国内の諸現象のみならず、世界全体の課題について探求できるように配慮した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 現代社会の諸課題			9
第1章 地球環境を考える	(1)私たちの生きる社会	p. 6～23	5
第2章 科学技術の発達と生命	(1)私たちの生きる社会	p. 24～34	4
第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方			53
第1章 青年期と自己形成	(2)現代社会と人間としてのあり方生き方 …ア	p. 36～47	3
第2章 他者と共に生きる倫理	…ウ	p. 48～77	6
法Seminar	…ウ	p. 78～85, 241, 244	4
第3章 現代の国家と民主政治	…イ	p. 86～99	3
第4章 日本国憲法と国民生活 1～6節	…イ	p. 100～138	7.5
Seminar 5 「裁判員制度」	…ウ	p. 139	0.5
7～9節	…イ	p. 140～154	2.5
ACTIVITY「裁判を傍聴してみよう」	…ウ	p. 155	0.5
第5章 国際政治の動向	…オ	p. 156～183	7
第6章 現代の経済社会と政府の役割	…エ	p. 184～219	7
第7章 経済活動のあり方と国民福祉	…エ	p. 220～255	7
第8章 国際経済の動向	…オ	p. 256～283	5
第3編 共に生きる社会をめざして	(3)共に生きる社会をめざして	p. 284～287	2
		計	64